



下野市立南河内第二中学校

平成28年度  
第 15 号

# 校長室だより

H 29. 3. 24  
発行者  
上野 保久

## 感動の卒業式、ありがとうございました。

3月9日、第23回卒業式を、厳粛のうちにも温かな雰囲気で行うことができました。ご理解、ご協力、本当にありがとうございました。

挙行にあたりましては、『みんなでつくる卒業式・入学式実行委員会』が組織され、着々と準備が行われてきました。式場を飾る桜の花びら一枚一枚には、今年の卒業生が1年生、2年生の時に、卒業していく先輩に贈った言葉が書かれています。2年生が1年生の時の言葉もあります。また、卒業していく先輩からの感謝の言葉も書かれています。そこに重ねて、今年の卒業生、1年生、2年生の言葉が貼られて分厚くなっています。まさに、式場中が、これまでの生徒の感謝の言葉や、贈る言葉・祝福の言葉で埋め尽くされている状況です。また、美術部による「大壁画」も圧巻でした。「思い出」と「希望」をテーマにした壁画は、誰も心を打つものだったと思います。温かな言葉と今日の日を象徴するかのような「大壁画」が全員をお迎えした卒業式場でした。

そのような中で行われた卒業式では、「送辞」「答辞」の感謝や励ましの言葉、「式歌」「校歌」に込められた深い思い、保護者代表の謝辞等を目の当たりにして、私は胸がいっぱいになりました。そして、あらためて、卒業生の前途を祝いたい気持ちになりました。

今年も卒業生が、以下のような「後輩へのアドバイス」を残してくれました。2年生のOS(オープンスペース)に『先輩からのアドバイス』と題して張り出されたものです。2例だけ紹介します。



### ◎ 後輩へのアドバイス

自分はテスト3ヵ月前までゲームを1日2時間くらいやっていた。しかし、残り3ヵ月くらいになった時、「やっペーぞ?」と思ったので、勉強をがんばりました。前までは、1日3時間しか勉強をしていませんでした。でも、「やっペーぞ?」と思ってからは、学校の休み時間も勉強し、家に帰ったらすぐに塾に行き、10時半まで勉強しました。その後、家で1時間復習。(7時間くらいかな?)

ゲームはマジであぶないです。はまるゲームは3年になってからはあまりやらないほうがいいのかも・・・パズドラ、モンスター、シャドバ、シロネコ、クラクラ、アガリオ。←自分はこれをやってはまってしまった・・・



### ◎ 後輩へのアドバイス

入試の勉強は今から始めた方がいいです。

ほとんどの人は、夏休みから本格的に受験勉強を始めます。しかし、夏休み中にも部活動がある人は、受験勉強を始めるのがおそくなりがちです。夏休み後から成績をのぼすのは正直難しいです。なので、今から少しずつやった方がいいです。オススメは、定期テストや実力テストの解き直しです。とても効果があると思います。(個人差があります。)

入試までは長いですが、あっという間に過ぎ去ります。時間を有効に使ってください。

このように、3年生全員がアドバイスしてくれました。とても具体的で分かりやすく、先生方から言われるのとはまた違った実感がわくのではないのでしょうか。本当によいものを残してくれたと思います。

1、2年生も、この1年間、たいへんよく頑張りました。本年度修了に際して、自分の成長を実感し、また新たな気持ちで次年度に向かっていってほしいと思います。

## これはおすすめ私の一冊



『前進力 自分と組織を強くする73のヒント』

加藤 三彦 (かとうみつひこ) 著 新潮文庫 460円

著者は、元能代工業高校バスケットボール部監督として、数々の全国大会を制覇し、プロの世界でもリンク栃木ブレックスのヘッドコーチを務めたこともありました。現在は、西武文理大学准教授を務めています。私は、能代工業高校の「走るバスケット」が大好きで、中でも加藤監督時代の能代工業高校が一番好きでした。『前進力』の書名の通り、読んで見ると、高い意識をもち、前を向いて進もうという気持ちがわいてきます。「常勝能代工業」を宿命づけられていた加藤監督は、その大変なプレッシャーとストレスを常に抱えていました。そのことについて、本文で以下のように述べています。

～本文より～

ストレスやプレッシャーが少なくなることはあるでしょうが、なくなることはありません。人が限りある命と寄り添って生きるように、ストレスやプレッシャーと二人三脚で生きていくのが理想です。心を鍛える意味からも、「勝つ」とか「乗り越える」という感覚ではなく、共生していきましょう。

(私は、この部分を読んで、『共生していく』という考えに、“目から鱗”の心境でした。)

## 表彰式を行いました。(3月24日) おめでとうございます。 表彰式においては、受賞者及び団体は代表者に壇上で手渡しました。



平成28年度栃木県卓球ランキング 女子シングルス 第12位 I・M

下野市優秀優良者表彰 優秀優良者 (人権作文) H・A

第68回書初中央展 金賞 I・M

平成28年度「私の推薦する本」 優秀賞 M・C

第7回かみスポクラブソフトテニスニューイヤーカップ男子団体の部 第3位

男子個人の部 N・M

A・T

第17回全国中学生創造ものづくり教育フェア 優秀賞 K・R



## お知らせ

- 「“とちぎ発” ストップ温暖化アクション」に参加した結果、節電・省エネ行動等の実践が認められ、このたび栃木県から表彰状が届きました。これは、夏休みに各家庭でチャレンジしていただいたものを報告書にまとめ提出した結果、県内でもトップクラスであったと、その取り組みに対していただいた感謝状です。アクションによるCO<sub>2</sub>削減量は2,787.4 kgで、自家用車で20,957.9 km走ったときのCO<sub>2</sub>排出量とほぼ同じなのだそうです。日常生活の中で地球温暖化防止行動に取り組むきっかけになったと思います。ご協力ありがとうございました。



## 校長室の窓から

- 1年生の英語の授業で、『先生にインタビューをしよう』という課題があり、校長室にも3グループがインタビューに来ました。みな緊張の面持ちで訪れ、礼儀正しくインタビューが始まりました。私の出身地や趣味、好きな食べ物・スポーツ・芸能人、誕生日やなぜ先生になったかなど、英語でたくさんの質問を受けました。私もたどたどしいながらも英語で答えました。とても和やかで、楽しい時間でした。英語の学習の実践編ということだなと思いました。

言語の定着や上達は、どれだけ使ったかにかかっています。私もかつて国語科の教師として授業を担当していた時、「いかに実践で、また実践に近い形で日本語を使わせるか」ということを研究していました。「インタビュー」「取材」などは、その効果が高いことを私はよく知っています。楽しい一時に感謝するとともに、よい授業が行われているなと思いました。

